

会津・南会津地方 有機農業推進セミナー

参加費
無料
(要申込)

普段目にすることのできない、土の中の世界に目を向けてみませんか？

有機農業のメカニズムや生物多様性の重要性、土壌微生物の評価法等について、最新の研究成果を交えながら、お二人の専門家にご紹介いただきます。有機農業に取り組んでいる生産者はもちろんこれからチャレンジしてみたい方、慣行農法の方も、幅広くご参加ください。
土壌病害等にお困りの方にも、改善のヒントがあるかも？

講演1 「なぜ、生物多様性(含む微生物)が豊かになると無農薬・無化学肥料が可能なのか」



吉田 太郎 氏

NPO法人
日本有機農業研究会理事

プロフィール

1961年、東京都生まれ。筑波大学自然学類卒。同大学院地球科学研究科中退。専攻は地質学。
埼玉県、東京都および長野県の農業関係行政職員として勤務。長野県では農業大学校教授(生物学、土壌肥科学演習)のほか、有機農業推進担当職員として有機農業の啓発普及に従事した。定年退職後は晴耕雨読の生活をしつつ、フリージャーナリストとして活動。
主な著書は「シン・オーガニック」(農文協)、「タネと内蔵」「コロナ後の食と農」「土が変わるとお腹も変わる」(いずれも築地書館)など。

講演2 「土の豊かさを付加価値に」



横山 和成 氏

株式会社DGCテクノロジー
チーフリサーチャー

プロフィール

1959年和歌山県生まれ。北海道大学大学院農学研究科を修了、農学博士。帯広畜産大学畜産学部助手、米国コーネル大学農学・生命科学部客員研究員、ボイストンブソン植物科学研究所客員研究員、農水省農業環境技術研究所主任研究官、北海道農業研究センター研究チーム長、(独立行政法人農研機構中央農業総合研究センター上席研究員、尚美学園大学尚美総合芸術センター副センター長、立正大学地球環境科学部特任教授などを歴任し、その間、米国疾病対策センター(CDC)、ミシガン州立大学微生物生態研究センター、ノルウェー国立ベルゲン大学、アルゼンチン国立農牧院農牧技術研究センター微生物学研究所で客員研究員としても兼務。
現在、株式会社DGCテクノロジーチーフリサーチャー。

場 所

公立大学法人 会津大学 講堂

日 時

令和7年11月11日(火) 13:00~16:00

参加申込

裏面申込書により11/5(水)までお申し込みください

主 催

福島県会津農林事務所 福島県南会津農林事務所

会津・南会津地方 有機農業推進セミナー

参加申込受付中

11/5
(水)
まで

下記の申込欄に必要事項をご記入の上、
FAX又はメールでお申し込みください。
電話でも申し込み可能です。

申込先

福島県会津農林事務所農業振興普及部 担当:新野 宛



0242-29-5317



0242-29-5314



shinkouhukyu.af04@pref.fukushima.lg.jp

お住いの市町村 または所属	職名	氏名	連絡先

※ご記入いただいた個人情報は、上記の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはありません。

セミナー会場

公立大学法人 会津大学

〒965-8580

会津若松市一箕町鶴賀字上居合90

TEL:0242-37-2500

お車でご来場の方は、西側の大駐車場をご利用ください。



問い合わせ

福島県会津農林事務所農業振興普及部



0242-29-5317

担当:新野